

参考資料

令和4年度当初予算案における主要な施策

部 局 名
危機管理防災部

新規事業及び重要事業総括表

総 額

【一般会計】

区分	令和4年度	令和3年度	伸び率
予算総額	3,167,865千円	3,052,078千円	3.8%
一般会計構成比	0.1%	0.1%	-

【災害救助事業特別会計】

予算総額	659,436千円	706,866千円	6.7%
------	-----------	-----------	------

主な新規事業及び重要施策

(単位 千円)

○ 危機や災害に備える

P 1	一部新規 災害対応力の強化【危機管理課】	18,430
P 2	新規 防災行政無線の機能強化【消防課】	133,548
P 3	新規 発災初期の情報収集力強化【災害対策課】	23,000
P 4	減災に向けた自助と共助の促進【危機管理課】	20,269
P 5	新規 防災ヘリコプターの更新による消防防災力の充実(債務負担行為)【消防課】	

限度額 2,838,550

災害対応力の強化

担当 危機管理課 企画担当
内線 8 1 3 2

1 目的

危機や災害ごとに対処すべき具体的なシナリオを作成し、図上訓練を繰り返すことで、専門的な知識を有する様々な官民の機関を連結し、県の災害対応力を強化する。

2 事業内容

(1) シナリオの作成と図上訓練の実施 (予算額 17,294千円)

地震災害や大雪災害など新たなシナリオを作成し、図上訓練を実施する。

また、令和3年度に作成した風水害のシナリオで繰り返し図上訓練を実施し、ブラッシュアップを図る。



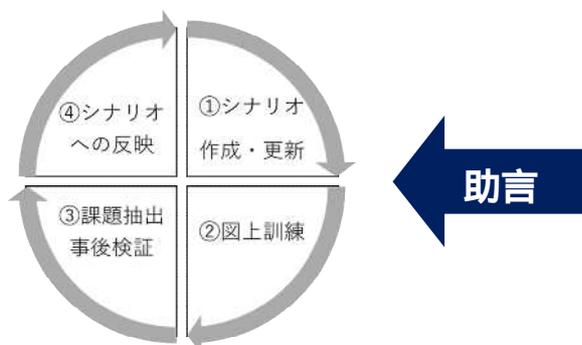
シナリオに基づく図上訓練



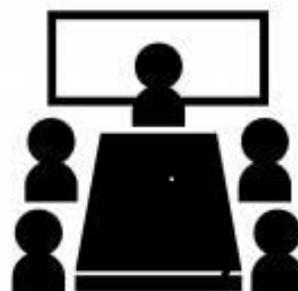
Zoomによる図上訓練のオンライン配信

(2) 専門家会議の設置 (新規) (予算額 1,136千円)

自然科学、河川土木、地質学、医学、災害対策、危機管理等の専門家による会議を設置し、専門家からの助言をシナリオ作成や図上訓練等の実施に反映させる。



シナリオ作成・図上訓練のサイクル



専門家会議

3 令和4年度予算額 18,430千円

防災行政無線の機能強化

担当 消防課 防災情報無線担当
内線 3177

1 目的

大規模災害時等における情報収集・伝達手段の確保を目的として衛星系防災行政無線を整備、運用しているが、国は令和7年度を目途に現行の第2世代から第3世代への移行を進めている。

そのため、衛星系防災行政無線の第3世代化に向けた設計を行う。

さらに、地上系防災行政無線の機能強化に向けた設計を行い、情報収集・伝達手段の強化を図っていく。

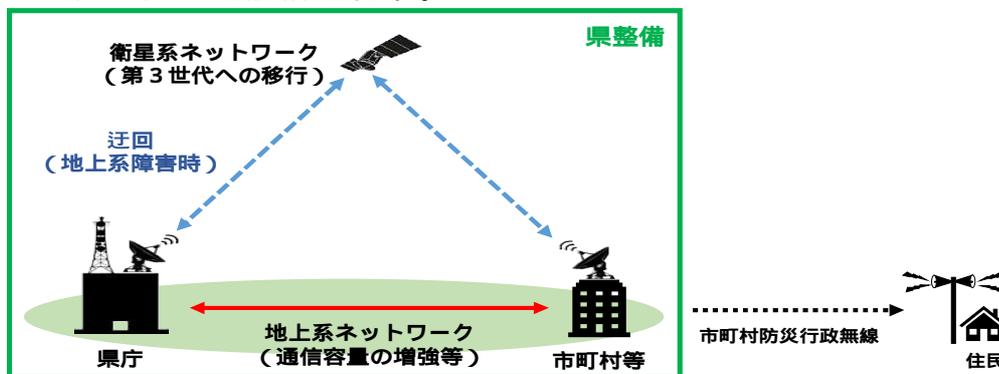
2 事業内容

(1) 衛星系防災行政無線再整備の設計 (予算額 69,872千円)

衛星系第3世代移行に向け、衛星系防災行政無線再整備工事の設計を行う。

(2) 地上系防災行政無線改修の設計 (予算額 63,676千円)

地上系の通信容量の増強・映像機能の強化及び衛星系と地上系を連携するための改修に向けた設計を行う。



機能強化のイメージ

3 令和4年度予算額 133,548千円

4 年度別事業計画

	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
衛星系	設計	再整備		
地上系	設計		改修	

発災初期の情報収集力強化

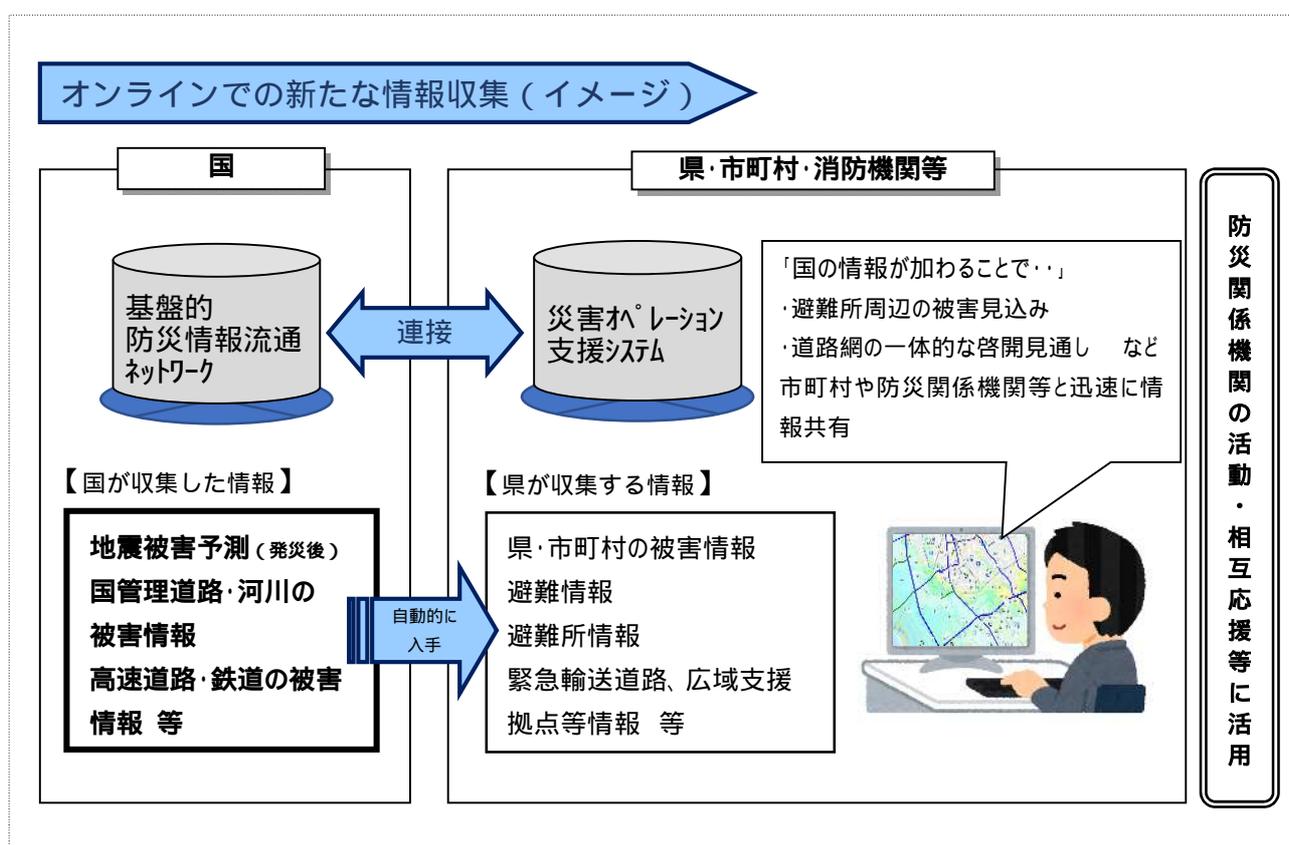
担当 災害対策課 災害対策担当
内線 8181

1 目的

県が災害オペレーション支援システムで収集する被害情報等に加え、国が収集した情報を入手することにより、発災初期の情報収集力を強化し、迅速かつ的確な災害対応を行う。

2 事業内容

県の情報収集・共有システムである災害オペレーション支援システムと、国の基盤的防災情報流通ネットワークを接続する改修を行う。



3 令和4年度予算額 23,000千円

減災に向けた自助と共助の促進

担当 危機管理課 震災予防担当
内線 8148

1 目的

首都直下地震等の大規模災害に備え、県民の自助・共助の取組を促進し、災害発生時の被害軽減を図る。

2 事業内容

(1) イツモ防災事業（予算額 7,975千円）

家具固定や水・食料の備蓄など自助の取組の啓発を行う市町村に対し、防災講座、ワークショップ、啓発冊子の配布などの支援を行う。

また、県が作成する動画コンテンツを「そなえチャンネル(YouTube)」で公開するほか、SNSを活用し、啓発・広報の強化を図る。

さらに、地域で防災を担う人材の育成を進める。



イツモ防災ワークショップ



動画コンテンツ(イメージ)

(2) ミンナ防災事業（予算額 12,294千円）

防災資機材整備に対する助成や研修・訓練への講師派遣を行い、自主防災組織の設立やヤングリーダー養成講座等の組織の活性化に取り組む市町村を支援する。

県内の地区防災計画策定を促進するためにモデル地区を選定し、その取組成果を県全体に広げていく。



ヤングリーダー養成講座



地区防災計画策定に向けた説明会

3 令和4年度予算額 20,269千円

防災ヘリコプターの更新による消防防災力の充実 (債務負担行為)

担当 消防課 消防広域担当
内線 8 1 7 1

1 目的

本県の防災ヘリコプター3機のうち、あらかわ2については運航開始後21年が経過しており機体更新の時期を迎えているため、引き続き県民の安全・安心を確保するため、機体の更新を行い消防防災力の充実に図る。

2 事業内容

あらかわ2の後継機となる新たな防災ヘリコプターを購入する。

【埼玉県の防災ヘリコプター】

あらかわ2 (AS365N3)	
	
運航開始	平成 13 年 4 月
飛行時間	約 5,100 時間

あらかわ3 (AW139)	
	
運航開始	平成 24 年 6 月
飛行時間	約 2,300 時間

あらかわ4 (AW139) (消防庁貸与機)	
	
運航開始	平成 24 年 6 月
飛行時間	約 2,800 時間

新機体の購入

運航の継続

3 債務負担行為の限度額 2,838,550千円

4 債務負担行為の期間 令和5年度から令和6年度まで

【防災ヘリコプターの主な役割】

- ・救助活動(山岳遭難、水難事故)
- ・火災防御(林野火災など)
- ・災害応急対策(情報収集、物資搬送など)
- ・救急(広域的な病院搬送)

【スケジュール(見込み)】

令和4年12月	入札
令和6年9月	新機体納入
令和7年4月	運行開始